

江田島市商工会

中東・ウクライナ
原油価格上昇等に関する
特別相談窓口



声メーター

広報に掲載された
皆さんの声

第86号（令和8年5月）～

30

令和7年度実績：51件

TOPICS

- ◆市民の声 2～3
- ◆6月定例会 4～5
- ◆一般質問 6～11
- ◆委員会報告 12～13
- ◆政務活動費の使い道 14
- ◆SNSでも発信しています 15



議会HP



動画配信



議会SNS



【A1】 こどもたちが自然の中でのびのびと育つことができます。地域の人や多様な居場所に支えられながら子育てができる温かさがあります。海で泳ぎ、山を歩き、季節の手仕事に触れるなど、日常の中に豊かな学びがあります。

【A2】 公共交通が限られていて、こどもたちが自分で移動しにくい。買い物や通学、習い事などでも車が前提となり、負担を感じる場面があります。学校は規律を重視する面があります。



生徒の自主性や多様な学び方を尊重する余地があります。

かつまた ありさ
勝又 阿利紗 さん

【A1】 1200年続くお寺から見るこの島は、お祭りなどを通じて自然と伝統が継承される、歴史と文化の奥行きが深い島です。生活の中に目に見えない豊かな文化や温かさが息づいている点が大きな魅力です。

【A2】 個々がバラバラにならず、今こそ団結が必要です。歴史を大切にしながら改善すべきは改善し、誰もがそれぞれの持ち場で笑顔で輝きながら、次世代へしっかりとバトンを渡せる町になることを望みます。



ほうじ じ
寶持寺住職
やました そうせい
山下 崇晴 さん

【A1】 人との距離が近いのがステキだと思います。例えば、行政職員が身近に出会える環境はありがたかったです。おかげで、私がしたいイベントについて相談しやすかったです。また、イベントを開催することで、知人友人も増えて、人生の中で一番友達が多い状況になっています。

【A2】 経験で感じることですが、イベントを開催してみるとか参加してみると、もっと増えると良いかと思います。交流が増えて、より良い町になるのではないのでしょうか。



あかぼし とおる
赤星 亨 さん

【A1】 瀬戸内海の穏やかな景色と豊かな自然に囲まれ、新鮮な魚介や野菜が味わえること。人とのつながりが温かく、ゆったりとした暮らしを楽しめる江田島市が好きです。

【A2】 地域の支え合いにより安心して暮らせる一方で、空き家対策や道路周辺の草木管理、買い物や通院の移動支援など、暮らしやすさ向上への取り組みに期待しています。



サロン主催者：M.K さん

Q1 江田島市の好きなところは？ Q2 これからどうなってほしい？



【A1】 私が好きな江田島市は、人と人とのつながりが温かく、こどもたちが地域に見守られながら成長できる島だということです。

【A2】 これからも世代を超えた交流や挑戦が生まれ、こどもたちが誇りを持ち、「将来も関わりたい」と思える江田島になってほしいと願っています。



広島県PTA連合会副会長
たか た だいすけ
高田 大輔 さん

【A1】 2008年、東京から江田島に移住しました。江田島は気候が温暖、風光明媚でセカンドライフを過ごすには最適の地です。移住して気付いたことは、江田島にはマリンスポーツ、サイクリング、トレッキングなど観光資源の原石が眠っていることです。

【A2】 これらの資源は設備投資をする必要がなく、リピーターとなる可能性が高いものです。これらを活用して、関係人口の増加をはかると良いと思います。



江田島カヌークラブ
たまやま よしお
玉山 義雄 さん

こんなことが決まりました！

6月定例会

会期 6/16～6/26

議案…… 9件
承認…… 2件
報告…… 3件
発議…… 4件

この中から三つを
詳しく解説！

全ての議案名および議案の議員別賛否は、
市議会ホームページでご覧いただけます。



＼ 定例会 ／
本会議のライブ中継・録画映像は、ご自宅の
パソコンやスマートフォンから視聴できます。



江田島市議会 中継

検索

主な議案の賛否

○…賛成 ●…反対 ―…議長職（議長は採決に加わりません）

	安西	濱寄	小栗	長原	小野藤	宮下	算本	上本	平本	美濃	角増	古居	長坂	平川	浜西	上松
予算	令和8年度江田島市一般会計補正予算（第1号）															
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
条例の制定・一部改正	江田島市中小企業・小規模企業振興条例案について															
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	江田島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について															
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
発議	江田島市介護保険条例の一部を改正する条例案について															
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	江田島市下水道条例及び江田島市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例案について															
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
その他	核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書案について															
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	議会のあり方に関する調査研究特別委員会設置に関する決議案について															
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―
	特定の事務を取り扱う郵便局の指定について															
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―

議案第39号

江田島市下水道条例及び江田島市農業集落排水処理施設
条例の一部を改正する条例案について

Point 2

下水道事業の将来を見越し基本料金等を
見直します

将来にわたり安定した下水道事業を維持できるよう
に、審議会からご意見、ご提案を頂き、下水道使用料
の基本料金などを見直します。

制度の内容

料金改定

・一般的な世帯で、2カ月当たり
約800円の増額

使用料改定時期

・令和9年4月1日

事業方針

・下水道の持続的かつ安定的な運営に努めます。



こんな質問が出ました



Q 使用量の多い施設の単価が違う理由は。

A 使用量が多い上位3施設は全て公的施設です。こ
れらの施設に応分の負担を求めることで、医療機
関や民間事業者、一般家庭の負担をできるだけ抑えま
す。

議案第35号

江田島市中小企業・小規模企業振興条例案について

Point 1

中小企業・小規模企業の持続的な発展を地域
全体で支援します

本市の地域経済と雇用を支える中小企業・小規模企
業の持続的な発展に向けて、行政や事業者、関係機関
さらには市民の皆さまが一体となり、地域全体で支援
します。

条例の内容

基本理念

・中小企業・小規模企業の存在を
深く認識し、事業者の創意工夫
や自助努力を促進します。

予想効果

・事業者が商工会などの伴走支援
を受けながら事業計画を作成す
ることで、国の補助金審査で加
点されるなど、採択につながり
やすくなります。

こんな質問が出ました



Q 江田島市内には、大規模事業者は何社あるのか。

A 江田島市内には大規模事業者はなく、農業や漁業
に従事する方を含め、事業者のほとんどが中小企
業・小規模企業者です。



議案第40号

特定の事務を取り扱う郵便局の指定について

Point 3

郵便局へ出張所の事務を試行的に委託します

該当する郵便局

・切串郵便局

試行期間

・令和8年8月3日～10月30日

※試行期間終了後は出張所での事務受付を再開しま
す。

委託する主な業務

・住民票などの発行、各種申請書の取り次ぎ、地域活
動の支援など

こんな質問が出ました



Q 進入経路や駐車環境への対応は。

A 路上駐車を避け、切串交流プラザに駐車していた
だくよう、広報紙や全戸配布チラシ等で周知をは
かり、江田島警察署と連携して安全
確保に努めます。

Q 住民の困り事への対応は。

A タブレットを活用したオンライ
ン相談を導入し、郵便局員の負
担軽減をはかります。





古居 俊彦

地域共生社会の推進と、包括的支援体制の構築を！

答 医療・福祉機関や民生委員と連携し、役割を明確化して包括支援の構築に取り組んでいます



動画

問 地域福祉計画について、地域共生社会の推進とは、どのようなものか。

答 地域共生社会は、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「わが事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながること、で、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に創っていく社会のことをいいます。

問 成年後見制度のPRの状況は。

答 成年後見制度は、認知症や知的障害・精神障害により、物事を判断することが十分でない者に対し、家庭裁判所が後見人等を選任し、預貯金、不動産などの財産管理や、各種契約など、生活に関わる行為を、法的に支援する制度です。利用促進の取り組みとして、市民への理解を深めるための出前講座や講演会の開催、社会福祉士などの専門職に対する研修会を実施しており、成年後見制度に関するパンフレットを作成するなど、制度や相談支援の周知を行っています。



おわりに

自助・互助・共助・公助と問題に対する目線は、変わっていきますが、行政が関われるのは、公助だけというのではなく、自助・互助・共助の方にも関わっていただきたい。また、成年後見制度については、しっかりと、制度の説明・PRを行い、暮らしやすいまちづくりを行っていただきたい。



浜西 金満

郵便局へ委託後、地域相談窓口の機能維持を！

答 地域の実情に応じ、柔軟な対応を検討していきます



動画



問 市総合戦略における重点取り組みの進捗をどのように管理し、進めているのか。

答 重点取り組みの進捗管理については、86の重点取り組み項目ごとに、中間評価指標となるKPIを数値で示し、各年度末に達成状況を確認します。また、数値化していない施策につきましても、庁内部署間で情報を共有していくとともに、有識者会議の意見を踏まえて見直しをはかるなど、より効果の高い計画となるよう進めます。計画の策定に当たっては、市民ワークショップや職員によるワーキンググループ会議、有識者会議などでの意見も反映しています。

問 想定人口効果843人をどのように算定し、検証するのか。

答 想定人口効果は、過去の実績や経験に基づき仮説を立てて算出した数値であり、重点取り組み項目ごとに「直接的な人口効果」と、その方々が地域で暮らすことによる「経済の波及効果」を組み合わせて設定しています。

おわりに

出張所業務の郵便局委託は、人口減少を見据えた地域づくりの取り組みとして、一定の理解はするが、相談対応の機能など、住民の安心感を損なわないよう、今後より丁寧な対応をはかるべきである。



市の考えを問う

一般質問

QRコードを読み取ると録画映像が視聴できます。

質問者 11人

- 1 筧本 語
- 2 古居 俊彦
- 3 浜西 金満
- 4 宮下 成美
- 5 長原 和哉
- 6 平本 美幸
- 7 小野藤 訓
- 8 美濃 英俊
- 9 濱崎 眞琴
- 10 安西 翔平
- 11 上本 雄一郎

人口減少の現状と、将来像の共有を！

地域共生社会の推進と、包括的支援体制の構築を！

郵便局へ委託後、地域相談窓口の機能維持を！

ふるさと納税の活用と「共感型」プロジェクトへ転換を！

所有者が不明の困った「空き家」や「農地」の対策を！

誰もが安心して暮らし続けられるまちに！

空き家対策と地域おこし協力隊でまちに活力を！

移住定住政策は、全ての部署が意識して！

未来へつなぐ下水道運営を！

大柿高校の魅力発信の取り組みを！

資源の有効活用のため薪ストーブ等の導入検討を！



筧本 語

人口減少の現状と、将来像の共有を！

答 自治会や関係団体会議などさまざまな場面を通じて、より多くの市民と共有できるよう、丁寧に説明を行っていきます



動画

問 市総合戦略における重点取り組みの進捗をどのように管理し、進めているのか。

答 重点取り組みの進捗管理については、86の重点取り組み項目ごとに、中間評価指標となるKPIを数値で示し、各年度末に達成状況を確認します。また、数値化していない施策につきましても、庁内部署間で情報を共有していくとともに、有識者会議の意見を踏まえて見直しをはかるなど、より効果の高い計画となるよう進めます。計画の策定に当たっては、市民ワークショップや職員によるワーキンググループ会議、有識者会議などでの意見も反映しています。

問 想定人口効果843人をどのように算定し、検証するのか。

答 想定人口効果は、過去の実績や経験に基づき仮説を立てて算出した数値であり、重点取り組み項目ごとに「直接的な人口効果」と、その方々が地域で暮らすことによる「経済の波及効果」を組み合わせて設定しています。

問 戦略の進捗や成果を、市民にどのように伝えていくのか。

答 各年度における進捗状況は、庁内会議や有識者会議を経て、KPIの達成状況や有識者から頂いた意見を市ホームページに掲載し、市民の皆さまに周知しています。また、それぞれの施策分野の関係者が集まる会議等においても、進捗状況等を共有し、現場の声を生かした取り組みになるよう努めていきます。



策定して終わりではなく、将来につながる計画に!!



平本 美幸

誰もが安心して暮らし続けられるために！


動画 

答 相談・支援活動の充実や関係機関と連携した取り組みを進めます

問 身寄りのない高齢者に対する「ブランチ」による支援状況は。

答 身の回りのことがある程度できる方については、1カ月に1回程度訪問し、見守りや相談に応じています。支援が必要な方につきましては、「ブランチ」の訪問支援に加え、地域包括支援センターの職員も訪問し、生活状況の把握や困り事などの相談に応じています。

問 高齢者の孤立死を未然に防ぐため、どのような取り組みをしているのか。

答 地域包括支援センターやブランチによる訪問活動のほか、民生委員による見守り活動、市社会福祉協議会の見守り支援員による安否確認や声掛け訪問等の活動が行われています。

問 新たな取り組みとして本年3月から、単身で暮らす方の安否を家族や知人が市公式ラインを通じて確認できる「単身者安否確認システム」を導入しました。今後、より多くの方に登録していただけるよう積極的に周知していきます。

問 終活支援の取り組みは。

答 高齢者の方が「島での暮らし」を最期まで続けることを目的とした「島でねばるエンディングノート」を作成し、まちづくり出前講座や地域に出向き啓発活動を行っているほか、終活についての講演会の開催、民生委員児童委員協議会の会議において周知をはかっています。

問 身寄りのない高齢者に対する支援は。

答 国において、頼れる親族がいらない高齢者等を対象とした「社会福祉法」が改正され、支援の拡充が行われます。今後、人口減少・少子高齢化が進む中、相談・支援活動の充実や、各種制度のさらなる周知をはかるとともに、社会福祉法改正の趣旨に則り、市や市社会福祉協議会、介護事業者や民間事業者等と連携して、支援の仕組みづくりを進めます。





小野藤 訓

空き家対策と地域おこし協力隊でまちに活力を！


動画 

答 空き家の適正管理と利活用で移住定住を促進し、地域おこし協力隊制度の活用で地域の活性化をはかります

問 地域おこし協力隊制度の活用について

答 空き家バンク制度の活用や不動産業界と連携し、売買についての補助制度充実や自治会や民生委員と連携する等、移住定住のさらなる強化をはかります。

問 空き家を利用した移住定住促進について。



答 「空き家の手引き」を送付し適正な管理を促し、危険家屋には所有者へ対策措置通知を送付し、解体除去には補助制度を運用しています。

問 老朽化が進行する空き家への取り組みは。

答 空き家の増加と老朽化が進行していますが、約8割は利活用が可能です。倒壊の危険や周辺への悪影響が課題です。

問 空き家等の実態調査での現状と課題は。

問 空き家対策について

答 県道7路線、二級河川5河川、急傾斜地117カ所の維持修繕および港湾4港の事務委託を受けています。緊急時の体制は、既に構

問 県から管理を受けている施設の種類とその数は。また、緊急時の対応は。

問 県から管理を受けている土木施設について

答 農地台帳を活用し、「空き家」対策同様に、市ならびに農業委員会が窓口になって対応します。

問 「農地」の場合は。

答 令和3年度の空き家実態調査では、1710戸、その内、市外の所有者は約68%。所有者には、毎年、「空き家の手引き」や納税通知の際に空き家相談などの啓発文書を送付しています。また、近隣に迷惑が掛かるなどの場合は、市職員が現地を確認し対応を行っています。

問 「空き家」の把握状況と管理不全となった場合の対応状況は。

答 隊員OBとの交流を深め、ネットワークを広げ、本市の潜在力を生かした取り組みが広がることを期待しています。

問 今後の効果的な活用と展望について。

答 10年間で15人を活用、10人が定住して、5人が起業し新たな活力と魅力を生み出しており、今年度は7人を活用しています。課題は業務上のミスマッチや意欲の低下であり、毎月全隊員と関係者で会議を行い、面談等でコミュニケーションをはかり、円滑に活動できるよう支援しています。

問 これまでの活用成果と課題は。

答 受入れ自治体は昨年度1187団体、8196人で6年連続増加、任期終了後は約7割が定住し、起業は約25%です。隊員に係る経費は一人当たり約500万円で全額が国の負担となります。

問 地域おこし協力隊の全国的な動向について。

答 近年、所有者が分からない「空き家」「農地」が増え、周辺に迷惑が掛かっている。個人情報保護が壁になり、なかなか連絡が取れないという現状である。行政が窓口になって対応してもらえない。

問 地元要望の対応状況は。

答 急傾斜地以外はおおむね対応はできています。

問 急傾斜地周辺には家屋も多数あり近年の気象や周辺環境は悪化している。管理予算の確保は。



築済みで、模擬訓練も実施しています。



宮下 成美

ふるさと納税の活用と「共感型」プロジェクトへ転換を！


動画 

答 民間企業とも連携し、本市の魅力を尖らせた具体的な事業を構築・発信していきます

問 企業版ふるさと納税において、募集プロジェクトが網羅的・抽象的で企業が寄付しにくい現状がある。残り2年の適用期限を見据え、本市独自の施策掘り起こしや実績向上に向けた具体的な取り組みを伺う。

答 指摘の通り、施策が抽象的で共感が得られにくい課題がありました。今年度は企業版ふるさと納税のノウハウを持つ企業と成果報酬型の業務委託契約を結び、魅力的で具体的なプロジェクトの選定とプロモーションを仕掛け、期限内に実績が上がるよう努めます。

問 一方、ふるさと納税は過去最高の約2億1628万円に達したが、カタログギフト化からの脱却やリピート率向上のため、ポータルサイトでの活用事例の可視化や、特定の事業に絞って寄付を募る「ガバメントクラウドファンディング（GCF）」を導入すべきだが、見解を伺う。

答 寄付者の皆さまへ活用実績を伝えるため、ポータルサイトやリニューアルする市ホームページへ

問 終活支援の取り組みは。

答 高齢者の方が「島での暮らし」を最期まで続けることを目的とした「島でねばるエンディングノート」を作成し、まちづくり出前講座や地域に出向き啓発活動を行っているほか、終活についての講演会の開催、民生委員児童委員協議会の会議において周知をはかっています。

おわりに

問 深刻な生育不良の逆境にあっても力キ関連の寄付額が前年比約5%増となった事実は、全国のファンからの強いメッセージである。生産者を直接下支えし誇りを持っていただくためにも、この貴重な財源の具体的な活用方法を伺う。

答 今年度は海底耕うんや漁業共済掛金の助成への活用を考えています。今後も生産者の皆さまの声や実情を踏まえ、本市の誇りである力キ養殖の回復施策へ有効に活用します。

問 所有者が不明の困った「空き家」や「農地」の対策を！

答 困ったら、「空き家」は都市整備課へ、「農地」は農林水産課へまずご相談ください



長原 和哉

所有者が不明の困った「空き家」や「農地」の対策を！


動画 

答 困ったら、「空き家」は都市整備課へ、「農地」は農林水産課へまずご相談ください

問 県から管理を受けている土木施設について

答 農地台帳を活用し、「空き家」対策同様に、市ならびに農業委員会が窓口になって対応します。

問 「農地」の場合は。

答 令和3年度の空き家実態調査では、1710戸、その内、市外の所有者は約68%。所有者には、毎年、「空き家の手引き」や納税通知の際に空き家相談などの啓発文書を送付しています。また、近隣に迷惑が掛かるなどの場合は、市職員が現地を確認し対応を行っています。

問 「空き家」の把握状況と管理不全となった場合の対応状況は。

答 令和3年度の空き家実態調査では、1710戸、その内、市外の所有者は約68%。所有者には、毎年、「空き家の手引き」や納税通知の際に空き家相談などの啓発文書を送付しています。また、近隣に迷惑が掛かるなどの場合は、市職員が現地を確認し対応を行っています。

問 「空き家」の把握状況と管理不全となった場合の対応状況は。

答 近年、所有者が分からない「空き家」「農地」が増え、周辺に迷惑が掛かっている。個人情報保護が壁になり、なかなか連絡が取れないという現状である。行政が窓口になって対応してもらえない。

問 地元要望の対応状況は。

答 急傾斜地以外はおおむね対応はできています。

問 急傾斜地周辺には家屋も多数あり近年の気象や周辺環境は悪化している。管理予算の確保は。



築済みで、模擬訓練も実施しています。



安西 翔平

大柿高校の魅力発信の取り組みを！

答

大柿高等学校活性化コーディネーターを配置し、教育活動の構築に取り組んでいます



動画

問 大柿高校における「地域みらい留学」等の導入について、現在の検討状況は。

答 令和8年度は25人の入学者がありました。内訳は、江田島市内の中学校から21人、市外から4人です。全校生徒数は63人となり、県が高校再編の目安として「2年連続して新入学生徒数が20人未満」または「全校生徒数が60人未満」という基準は上回る状況です。今年度は、さらに大柿高校の魅力を高めるための支援として、市独自の補助金に加え、地域おこし協力隊の制度を活用した「大柿高等学校活性化コーディネーター」を配置しています。「地域みらい留学」につきましても、費用や運営体制も含めて高校とも継続して協議しています。

問 市外からの生徒受け入れを見据えた寮の増設や、民間施設活用を含めた住環境整備について現在の検討状況は。

答 現在、下宿で2人を受け入れ可能です。さらなる県外からの募集枠を増やすことを目指し、下宿先の確保を進めています。見通しとしては、4〜5人程度の下宿先を確保できそうですと聞いています。





上本 雄一郎

資源の有効活用のため薪ストーブ等の導入検討を！

答

ニーズの把握や補助制度導入市町の実例、国や県の支援制度等の情報収集に努めます



動画

問 市の直営事業や委託事業で生じる剪定枝等の分量と処理方法は。

答 本市域で発生する剪定枝等の処理方式および令和7年度の処分量について、お答えします。一つ目に、刈草は、リレーセンターで減量化した後「グリーンセンターくれ」で焼却処分しています。処分量は約74トンです。二つ目に、伐採木は、民間処分場でチップ化しています。処分量は約384トンです。三つ目に、剪定した枝木は、発生場所や大きさ、保管スペース等に応じて、環境センターまたはシルバー人材センターへ搬出しています。環境センターに搬出したものは、破砕処理を行った上で、「グリーンセンターくれ」で焼却処分しています。処分量は約27トンです。シルバー人材センターに搬出したものはチップ化しています。処分量は約38トンです。

問 今後の下水道計画の見通しは。

答 今回の使用料改定については、施設の維持管理や更新に必要な財源を確保するために実施するもので、子育て世帯や中小企業への影響に配慮しながら検討しました。一般家庭への影響は比較的抑えられる見込みです。



シルバー人材センターでは枝葉をチップ化して土壌改良材等にしている



美濃 英俊

移住定住政策は、全ての部署が意識して！

答

庁内関係部局と密に連携をはかり、全ての情報を分かりやすく整理するように努めます



動画

問 市は、移住・定住ポータルサイトの改修、公式ホームページのリニューアル、空き家の全戸調査を実施予定であり、市の移住定住政策・空き家問題を考える、良い機会である。中でも、市公式ホームページのリニューアルは移住定住政策にとっても大きなチャンスであり、大きく期待するところである。

答 一般的に、移住希望者が移住先を調べる際、子育て環境や教育環境、医療環境などをホームページでよく見ると言われている。市ホームページへの、市内からと市外からのアクセス数はどれくらいあるか。

問 実際閲覧しているのは、圧倒的に、市外の方が多い状況である。改修前に各部署のニーズなどは、どのように反映しようと考えているのか。

答 昨年度、令和7年度のアクセス数については、全体で延140万件でした。その内訳は、市内からが約15万件、市外からのアクセスが約125万件となっています。

問 空き家バンクなど移住定住政策全般にわたり質問しました。

答 以上の質疑の締めとして、まず、移住定住政策において、ホームページでは、全ての部署の協力が必要。市外からの閲覧が圧倒的に多いことを意識して取り組むことが重要である。次に、外部から閲覧する人にとって、ホームページは本市を知る入口である。江田島市をどのように見せるか、いわゆるブランディングを意識すること。重要なことなので、以上2点を求めた。



市公式 HP TOP 画面



濱崎 眞琴

未来へつなぐ下水道運営を！

答

経営改善を進めながら、将来を見据えた持続可能な下水道事業を検討します



動画

問 本市の下水道事業は整備開始から約30年が経過し、人口減少や施設の老朽化が進んでいます。将来にわたり安定したサービスを維持するため、これまでの経営改善の成果は。

答 本市はこれまで、下水道区域の見直しや処理施設の統合などにより、整備費や更新費の削減に取り組んできました。また、維持管理費の縮減も進め、経営改善の効果が表れています。今後も施設の集約や効率化を検討し、持続可能な事業運営を目指します。

問 令和9年度施行の下水道使用料改定の考え方は。

答 今回の使用料改定については、施設の維持管理や更新に必要な財源を確保するために実施するもので、子育て世帯や中小企業への影響に配慮しながら検討しました。一般家庭への影響は比較的抑えられる見込みです。



下水道点検のイメージ図

問 将来的に下水道施設の更新時期を迎えることから、人口動態や国の制度動向、最新技術などに注視しつつ、合併浄化槽への切り替えなど総合的な検討については、その時期を含めて見極めていきます。

答 将来的に下水道施設の更新時期を迎えることから、人口動態や国の制度動向、最新技術などに注視しつつ、合併浄化槽への切り替えなど総合的な検討については、その時期を含めて見極めていきます。

問 下水道は、私たちの暮らしを支える大切な社会基盤である。一方で、人口減少が進む中、将来の維持管理や更新には大きな課題がある。市民の皆さまへの丁寧な説明と理解を得ながら、将来世代に過度な負担を残さない持続可能な仕組みづくりを進めるよう要望する。

答 下水道は、私たちの暮らしを支える大切な社会基盤である。一方で、人口減少が進む中、将来の維持管理や更新には大きな課題がある。市民の皆さまへの丁寧な説明と理解を得ながら、将来世代に過度な負担を残さない持続可能な仕組みづくりを進めるよう要望する。

産業厚生 常任委員会

【委員長】上本 雄一郎 【副委員長】古居 俊彦
【委員】浜西 金満 長坂 実子 角増 正裕
美濃 英俊 長原 和哉 濱寄 眞琴

各種産業、道路・建物、下水道、他にも税金や、ごみ問題など市民生活に係る事業、子育て・介護など福祉に関する事務事業を担当します。

高齢化や後継者不在など
さまざまな課題が出ている
自治会・まちづくり協議会
何かしら対応できないか？



総務文教 常任委員会

【委員長】宮下 成美 【副委員長】平本 美幸
【委員】上松 英邦 平川 博之 寛本 語
小野藤 訓 小栗 賢 安西 翔平

市役所の運営、お金の管理、公共交通、防災・消防、教育、選挙、監査などに関する事務事業を担当します。

指定管理航路・江田島
バス、学校のあり方に関
する保護者アンケート
について調査
しました。



5月18日、6月18日に開催された総務文教常任委員会では、所管事務調査として「指定管理航路・江田島バスの現状」「学校のあり方に関する保護者アンケート結果」について企画部、教育委員会から説明を受け調査を行いました。

指定管理航路（中町、宇品）・江田島バスの現状と課題について

●企画部からの報告

- 指定管理航路および江田島バスの現在の状況と今後の見通し
・原油・燃料費高騰による経営状況への影響は、航路は軽油1リットル当たり40円（約50%増）値上がり、長期化する場合大きな影響を受けます。バスは暫定税率が廃止されたことで影響は受けていません。
・今後の燃料費高騰への補正予算等支援は、県や関係市と協議し「広島県生活航路維持確保対策事業補助金」や、国の交付金を活用した支援を検討します。
・民間航路においても同様に影響を受け、フェリーの主燃料であるA重油価格は5年前の約2倍となっています。
・今後、料金改定を含め利用者負担増の可能性があります。

●委員会の質疑

- Q：国の交付金はどのようなものか。
A：物価高騰臨時交付金を本年3月に一度支援しています。
Q：燃料費が指定管理者公募時を大幅に超過し、経営に影響が出ていると思うが、指定管理者への対応は。
A：県の協調補助を活用するため、来年度の支援に向けて調整しています。



学校のあり方に関する保護者アンケート結果について

●教育委員会からの報告

- 基本方針・将来構想・総括
・現在、学校規模適正化検討委員会で協議中であり、年度内に答申を受け具体的な検討整理を行う予定です。
・アンケート結果では、学校規模は小中学校とも1学級当たり「20～29人」が多く、配慮すべき事項は「通学距離・通学時間・通学方法」や「教育の質の維持・向上」といった意見が多

●市民生活部からの報告

- ・まち協：本市では市民と行政が連携・協力し、持続可能な地域づくりを進めるため、まち協の設立を進めてきました。自治会をはじめ、女性会やPTAなどの地域の幅広い団体が連携してより広い視点でまちづくりや地域課題の解決に取り組む組織として、22地域で設立されています。

●委員会の質疑

- ①本市の支援策②自治会の状況③認可地縁団体④自治会まち協役員の年齢構成⑤まち協の状況⑥自治組織における現状と課題⑦課題解決に向けて（まちづくり共生課の取り組み）の7項目について、データを基に詳細な報告がありました。

●その他

- 「海辺の新鮮市場」の現状「江田島市第4次地球温暖化対策実行計画（市役所の取組）」など調査を実施しています。



議会運営 委員会

【委員長】上本 雄一郎 【副委員長】宮下 成美
【委員】平川 博之 古居 俊彦 美濃 英俊 平本 美幸

安芸高田市議会視察

議会の活発化と質の向上を目的として、3月23日、安芸高田市議会に視察に行ってきました。議員の資質向上や議会改革への取り組みなど、参考になる点を多く学びました。広島県と同じ中山間地域ということもあり、市が抱える課題には共通点も多く、参考になりました。

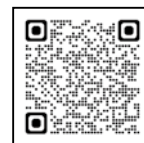


●委員会の質疑

- Q：答申の内容や概要は。
A：学校規模適正化検討委員会から、今後の学校規模適正の方針や通学バス等、方向性が示される予定です。
Q：通学時間・距離の想定は。
A：徒歩・自転車
で小学生は4km、中学生は6km、バスの場合1時間程度をイメージしています。



※学校規模適正化検討委員会の議事録やアンケート結果は、教育委員会ホームページに掲載しています。



教育委員会HP

- 丁寧な説明と合意形成
・説明会でアンケート結果や検討委員会の答申を丁寧に説明していきます。
- アンケートの分析・活用
・約45%が学校統合を支持していますが、統合を行わない等の回答も踏まえ協議します。
・アンケート結果は、小・中学校長にも提供し学校運営の参考とします。

SNSでも発信しています

江田島市議会【公式】

Instagram

Facebook

・QRコードを読みこんでご覧ください。

・お気軽にシェア、フォロー、いいね お願いします。

議会で SNS を始めて 3 カ月。まだまだどのような記事が良いか試行錯誤しながらの投稿です。一例をご紹介します。

にこ♡にこハウス屋外広場

●入園申し込みのデジタル対応について

入園申し込みをデジタルでと当初は考えていましたが、現在は、もう少し踏み込んで、認定こども園の先生と保護者の連携をよりスムーズにするためのアプリの導入を考えています。まだ、調査研究段階で、模索しているところですが、子育て環境が良くなるように、引き続き努めます。

●母子手帳アプリ「母子モ」の利用促進について

妊娠中から育児までを総合的に支援してくれる、便利で使いやすいアプリです。予防接種の履歴や赤ちゃんの成長記録が簡単に管理できるので、育児の負担が軽減されると考えています。そのため、妊娠期からの利用を今後も勧めていく考えです。ただ、個人で利用するアプリのため、具体的な活用状況まで把握できないのが現状です。

●入園申し込みのデジタル対応について

入園申し込みをデジタルでと当初は考えていましたが、現在は、もう少し踏み込んで、認定こども園の先生と保護者の連携をよりスムーズにするためのアプリの導入を考えています。まだ、調査研究段階で、模索しているところですが、子育て環境が良くなるように、引き続き努めます。

「子育て支援で ICT 活用を進める。」は どうなったのか

【令和 5 年 2 月議会】

回答：子育て支援課長（令和 8 年 6 月）

●入園申し込みのデジタル対応について

入園申し込みをデジタルでと当初は考えていましたが、現在は、もう少し踏み込んで、認定こども園の先生と保護者の連携をよりスムーズにするためのアプリの導入を考えています。まだ、調査研究段階で、模索しているところですが、子育て環境が良くなるように、引き続き努めます。

●入園申し込みのデジタル対応について

入園申し込みをデジタルでと当初は考えていましたが、現在は、もう少し踏み込んで、認定こども園の先生と保護者の連携をよりスムーズにするためのアプリの導入を考えています。まだ、調査研究段階で、模索しているところですが、子育て環境が良くなるように、引き続き努めます。

●入園申し込みのデジタル対応について

入園申し込みをデジタルでと当初は考えていましたが、現在は、もう少し踏み込んで、認定こども園の先生と保護者の連携をよりスムーズにするためのアプリの導入を考えています。まだ、調査研究段階で、模索しているところですが、子育て環境が良くなるように、引き続き努めます。

●入園申し込みのデジタル対応について

入園申し込みをデジタルでと当初は考えていましたが、現在は、もう少し踏み込んで、認定こども園の先生と保護者の連携をよりスムーズにするためのアプリの導入を考えています。まだ、調査研究段階で、模索しているところですが、子育て環境が良くなるように、引き続き努めます。

●入園申し込みのデジタル対応について

入園申し込みをデジタルでと当初は考えていましたが、現在は、もう少し踏み込んで、認定こども園の先生と保護者の連携をよりスムーズにするためのアプリの導入を考えています。まだ、調査研究段階で、模索しているところですが、子育て環境が良くなるように、引き続き努めます。

報告

政務活動費の使い道

市のことを考える
活動に使われているんだね！

政務活動費とは、議員が調査研究その他の活動を行うために経費の一部として交付されるものです。本市では、会派（所属議員が 1 人の場合を含む）に対して、会派の所属議員×年額 18 万円が年度当初に交付されます。年度末には、支出を証明する領収書等を添付した収支報告書を議長に提出し、残額がある場合は市へ返還します。

令和 7 年度（11 月～ 3 月）政務活動費の収支状況								
(単位：円)								
会派名	政友会 (9 人)	平川 博之	美濃 英俊	平本 美幸	筧本 語	宮下 成美	濱崎 眞琴	安西 翔平
交付額 (a)	675,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
支出科目								
調査研究費	49,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	10,630
研修費	0	0	36,130	0	0	0	0	0
広報費	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	43,087	0	0	0	0	0	0	0
資料購入費	24,420	0	0	0	0	0	0	2,970
支出額合計 (b)	117,007	5,500	41,630	5,500	5,500	5,500	5,500	13,600
返還額 (a) - (b)	557,993	69,500	33,370	69,500	69,500	69,500	69,500	61,400
主な支出	タブレット端末利用負担金、事務用品代、資料購入代	タブレット端末利用負担金	タブレット端末利用負担金、視察旅費	タブレット端末利用負担金	タブレット端末利用負担金	タブレット端末利用負担金	タブレット端末利用負担金	タブレット端末利用負担金、視察旅費、資料購入代

会派所属議員
(令和 8 年 3 月 31 日現在)

●政友会 (9 人)

浜西 金満、上松 英邦、
長坂 実子、古居 俊彦、
角増 正裕、上本雄一郎、
小野藤 訓、長原 和哉、
小栗 賢

お詫びと訂正

議会だより第 86 号の 16 ページ・市議会アドベンチャー記事の、質問者の名前を 福島蓮さんと掲載しておりましたが、正しくは 福島蓮さんの誤りでした。お詫びして訂正いたします。

中国市議会議長会表彰

上松 議員 長坂 議員

永年勤続 議員表彰

永年にわたり、地方自治の発展に寄与した功績に対して、次の通り表彰されました。

- 議員 16 年以上
上松 英邦 議員
- 議員 12 年以上
酒永 光志 さん
- 議員 8 年以上
長坂 実子 議員
- 前江田島市議会議員
岡野 数正 さん
- 正副議長 3 年以上
前江田島市議会議員
酒永 光志 さん

密着リポート

商工会青年部

商工会は、中小企業や小規模事業者に伴走して支援を行う組織です。江田島市では、約630の事業者が会員になっています。

青年部には、45歳までの社長や後継者、それに準ずる方が所属しています。



インタビュー対象者

左：青年部事務局 貞井 将吾 さん

中央：青年部部長 住岡 龍 さん

右：青年部事務局 中畠 和成 さん

商工会青年部Q&A

Q：商工会や青年部の役割は？

商工会は、小規模事業者や創業を目指す方の経営相談に寄り添う「公的なコンサルタント」のような存在です。青年部は、地域イベントや清掃活動、異業種交流などを通じて、地域を元気にする活動に取り組んでいます。(中畠さん)

Q：青年部に入って良かったと感じることは何？

一番の魅力は、人とのつながりです。先輩経営者から仕事や地域との関わり方を学べるだけでなく、同世代との横のつながりも生まれます。経営者は孤独になりがちですが、気軽に相談したり、本音を話したりできる仲間ができることは大きな支えです。青年部での出会いが新たな事業連携につながることもあります。(住岡さん)

Q：現在、特に力を入れている取り組みは？

漁協や地域事業者と連携し、「カキを食べて育ったチヌ」を活用した新たな地域グルメづくりを進めています。魚のアラを使っただしや地元のみそ、乾麺など、江田島ならではの食材を生かした「牡蠣鯛うどん」を開発中です。

将来的には飲食店や家庭でも楽しんでもらえる地域の名物に育てたいと考えています。(貞井さん)

Q：今後、どのような団体でありたいですか？

若手経営者が地域のために自ら行動し、挑戦できる団体でありたいと思っています。新しく創業した方や移住してきた方にも「まず相談してみよう」と思ってもらえる存在を目指しています。

地域の仲間と力を合わせながら、新しい挑戦を続け、江田島をさらに活気あるまちにしていきたいです。(住岡さん・貞井さん)

インタビューを終えて

青年部がイベント出店やボランティアなどで培った「地域のつながり」の強さを実感しました。中でも近年増えているという「移住者の起業支援」の課題や必要性についても共有することができ、大きな可能性を感じました。

新しい風を地域の活力に変え、移住定住を促進していくためには、商工会のサポート、行政の施策、そしてわれわれ議会のバックアップという「3者の緊密な連携」が何より欠かせません。

「このまちで挑戦してよかった」と思える未来を一緒につくれるよう、議会としても手を取り合っていきます。



えたぼう

江田島市商工会
マスコットキャラクター

次回の定例会は

9月1日(火) 午前10時開会予定

※日程は変更となる場合があります。

詳細は、定例会が開催されるおおむね1週間前に江田島市議会ホームページに掲載します。



議会傍聴メーター

令和8年6月までの累計 ▶▶▶

令和8年中に議会・委員会の傍聴に来られた方をカウントします。

令和7年累計：145人

823

議会広報特別委員会

委員長 美濃 英俊
委員 宮下 成美
委員 濱崎 眞琴

副委員長 筧本 語
委員 小野藤 訓
委員 安西 翔平

●発行／江田島市議会 ●編集／議会広報特別委員会 ●問い合わせ／江田島市議会事務局

〒737-2193 広島県江田島市江田島町中央1丁目1番1号 TEL (0823) 42-6310 FAX (0823) 42-6315